

湘南鎌倉総合病院広報誌

Vol. 98

2015年
5月号



医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

編集・発行 / 湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

Shonankamakura General Hospital

しようなんメール



Contents



ご自由に
お持ちください
TAKE FREE

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」

2P〈職員紹介〉

2015年度 研修医紹介

5P〈院内活動〉

2015年3月14日

防災訓練が行われました

6P〈救命救急センターより〉

湘南鎌倉総合病院における

ヘリコプター救急搬送患者の現状②

8P〈トピックス・病院案内〉

・「神奈川DMAT-L」に指定されました

・「神奈川県がん診療連携指定病院」に指定されました



2015年度 研修医紹介



研修委員会
委員長 塩野 正喜

湘南鎌倉総合病院は、平成8年より厚生労働省の臨床研修指定病院の認可を受け、研修医の育成に力を入れている病院です。平成27年度より産婦人科、小児科プログラムを新たに設立し、基本プログラムと合わせ22名もの初期研修医が入職し、日々、医師として研修を受けております。彼ら彼女らはもう5年もすると多くの事が出来る立派な医師になり、地域医療の中核を担う事になります。当院での研修は全国的にも厳しい環境での研修とされています。その中で多くの事を学びます。“断らない医療で始まり断らない医療で終わる”ということを体で覚える大事な時期を過ごしています。受診された患者さんが少しでも満足して頂けるよう日々研鑽しています。地域の中核病院であり続けることを心に刻み込むべく例年以上にはりきっている研修医達です。どうぞ宜しくお願い致します。

DOCTOR 基本プログラム



あべ もとき
阿部 幹

はじめまして。杏林大学より来ました、阿部幹と申します。将来は救急外傷を専門に活躍したいと考えています。湘南鎌倉総合病院での初期研修を充実したものにするため頑張りたいと思います。



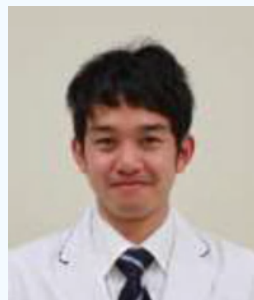
うえはら たつき
上原 立己

この度、初期研修をさせて頂くことになりました横浜市立大学出身の上原立己と申します。生まれも育ちも横浜なのでこのまま神奈川の役に立っていければと思います。よろしくお願い致します。



えすみ りょう
江角 亮

三重大学出身の江角です。まだ駆け出しで至らない部分も多々あるとは思いますが、全身全霊で取り組んでいこうと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



からすやま つかさ
烏山 司

はじめまして。烏山司と申します。長崎県出身で、福岡県の産業医科大学卒です。部活動は軟式テニスをしていました。ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、2年間お願い致します。



ぐんじ ゆうすけ
郡司 裕介

はじめまして。郡司裕介と申します。青森の弘前からやってまいりました。大学時代はラグビーをやっていて体力には自信があります。笑顔で皆さんを元気にできるよう頑張ります。



こながや けんすけ
小長谷 健介

はじめまして。日本医科大学の小長谷健介です。モチベーションの高い先輩・同期と働きながら成長していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

基本指針

湘南鎌倉総合病院の研修の目標は、自分自身が良い臨床医になることだけでなく将来若い人達を育てられる良い指導医になることである。

良い臨床医とは、患者さんに対してempathy（共感）を持ち、全人的に診断ができ、的確な診断治療を行える医師のことである。この目標が達成できるように研修体制には右記のような工夫がなされている。

- 1.医療に集中できる
- 2.チーム医療の研修ができる
- 3.Primary care、Emergency careの研修、各専門診療の研修が充実している
- 4.必須に加え、選択ローテーションができる
- 5.離島僻地医療を体験することができる
- 6.屋根瓦（がわら）方法の研修ができる
- 7.学会活動ができる



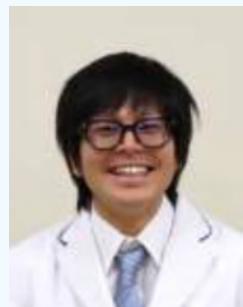
たざわ ともひこ
田澤 智彦

はじめまして。獨協医科大学出身の田澤智彦です。病院見学の時に先生方の素晴らしいお人柄に触れ、当院での研修を決めました。先生方のような立派な医師になれるよう頑張ります。



つちや つばさ
土屋 翼

横浜市立大学から来ました。出身は川崎です。大学ではヨット部に所属し、江ノ島で夏を過ごしてきました。研修では、患者さんにたくさん学ばせていただけるよう、精進してまいります。



ながさか たくや
永坂 拓也

香川大学出身の永坂拓也と申します。明るく元気で謙虚な姿勢で何事にも取り組んで参ります。ご迷惑をおかけしてしまうこともあるかもしれませんが、どうぞ宜しくお願い致します。



なかにし たかひろ
中西 貴大

初期研修医 1年目の中西貴大と申します。大学を卒業したばかりではありますが、患者さんに安心して医療を受けて頂けるよう医師としてプロフェッショナル精神を持ち、日々精進してまいります。



ばんの たろう
阪野 太郎

研修医 1年目の阪野太郎と申します。卒業したばかりで右も左も分からず未熟者ですが、精一杯頑張ります。



ひらの たかひさ
平埜 貴久

今年度より湘南鎌倉総合病院で研修医をさせて頂きます。札幌医大出身の平埜貴久と申します。まだ大学を卒業したばかりの未熟者ですがいち早く成長できるよう全力で頑張りたいと思います！



ふくだ かいと
福田 開人

大学卒業したての未熟者ですが、しっかりと勉強して湘南鎌倉総合病院のいちスタッフとして皆様のお力添えが出来ればと思います。よろしくお願ひ致します！



ますの ひろあき
柘野 浩彰

はじめまして、大阪から来た柘野浩彰です。未熟者ですが湘南鎌倉総合病院で一生懸命研修させて頂きます。少しでもお力になりたいと思っていますので、よろしくお願ひ致します。



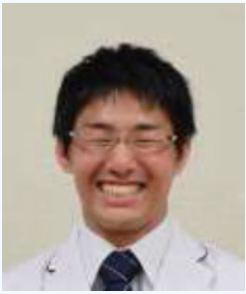
みずこし りょう
水越 諒

はじめまして。日本大学出身の水越諒と申します。ベ이스ターズファンなので、この神奈川の地に入職できて幸せです。至らない点が多いかと思いますが、よろしくお願い致します。



みやた ゆい
宮田 惟

はじめまして。湘南鎌倉総合病院で研修させて頂きます、北海道から来ました宮田惟と申します。日々精進してまいりますのでこれからどうぞよろしくお願い致します。



やすはら ひろき
安原 大生

はじめまして。鳥取大学出身で湘南鎌倉総合病院研修医1年目の安原大生と申します。医師としての礎を築くことができるよう誠意をもって患者さんと向き合っていきたいと思っております。



よこた しょうへい
横田 翔平

こんにちは。聖マリアンナ医科大学出身の、初期研修医1年目横田翔平と申します。医師としての1年目を患者さんのために全力で捧げたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



わたなべ あきこ
渡辺 晶子

はじめまして。秋田大学出身の渡辺晶子と申します。医師として、当院で働けることをうれしく思います。がんばっていきますので、よろしくお願い致します。

OBSTETRICS
産婦人科キャリアパス
支援型プログラム
GYNECOLOGY

PEDIATRICS
小児科キャリアパス
支援型プログラム



おがわ まさり
小川 真沙里

はじめまして！24才の女の子です。大学では空手をやっていた。先生方についてたくさん学びとってきたいと思っておりますので、どうぞ御指導の程よろしくお願い致します！！



いそべ こうじ
磯部 弘治

この度、湘南鎌倉総合病院で初期研修医として働かせていただきます。磯部弘治と申します。よろしくお願い致します。33才で27期では最年長ですが、20代の研修医同期に取り残されないよう頑張ります。



たにくち たかゆき
谷口 貴之

岡山県川崎医科大学からきました谷口貴之です。一生懸命に医療をされている先輩方を見て自分もこの病院でがんばろうと思いました。よろしくお願い致します。

2015年 3月14日 防災訓練 が行われました

2015/3/14
災害訓練中
ご迷惑をおかけいたしますが、
ご協力をよろしくお願いいたします。



◇災害の想定

首都直下を震源とするマグニチュード9.0
震度6の地震が発生
鎌倉市内でも相当数の被害者が出た模様



災害対策本部



黄色ポスト

2015年3月14日に防災訓練を行いました。実際に災害が起きた時どのような動きをすればよいのかの確認を含めた訓練になります。当院では、災害訓練をするにあたり毎回テーマを決めて実施しています。今回のテーマは、「物品の準備や設営作業を含めた立ち上げ訓練」、「電子カルテを使用できることを想定とした訓練」、「各部署の震災時のマニュアルリストの更新」というものでした。今回の災害訓練では、より現実に近い形で行うために、災害後のポストに必要な物品を集めることから始めました。



▲一次トリアージブース

テントの設置は女性のみでも出来るように簡単なものとなっています

実際にストレッチャーに乗り、搬送を行います



▲一次トリアージブースから搬送中



▲黄色ポスト

各ポストで診察を行います



外来の廊下に臨時病棟を増床して患者さんを受け入れます

◀3F廊下

今回は、電子カルテが使えることを想定して、パソコンを使用しました

黄色ポスト ▶



今回は14：00に訓練開始の合図となる放送を流しました。災害対策本部が設置され、各部署は中心となる本部に被害状況を報告し、災害対策本部長は集まった情報を基に診療の継続を決定します。参加した職員は「傷病者」や「職員」と書かれたゼッケンを胸に付けて役割を分担し、傷病者役の方は傷病者の年齢や性別、症状などが細かく書かれたカードが渡され、その内容を演じます。

傷病者は、正面玄関前に設置された一次トリアージブースと呼ばれる場所に集められます。(救急車で来られた方も同様です)症状の緊急性と重症度によって案内する場所を区別しており、一次トリアージブースでの症状の確認後、軽症の方は緑ポスト、中等症の方は黄色ポスト、重症の方は赤ポストに案内されます。(基本的に軽症と判断された方は院内に入ることはできません)各ポストに到着すると診察の開始です。

訓練終了後、参加した職員が一同に集まり講評を行いました。災害が発生した際の職員の動きの見直しや改善点の洗い出しなどを行い、災害時には患者さんをスムーズに受け入れ・誘導をできるように努めたいと思います。



講評

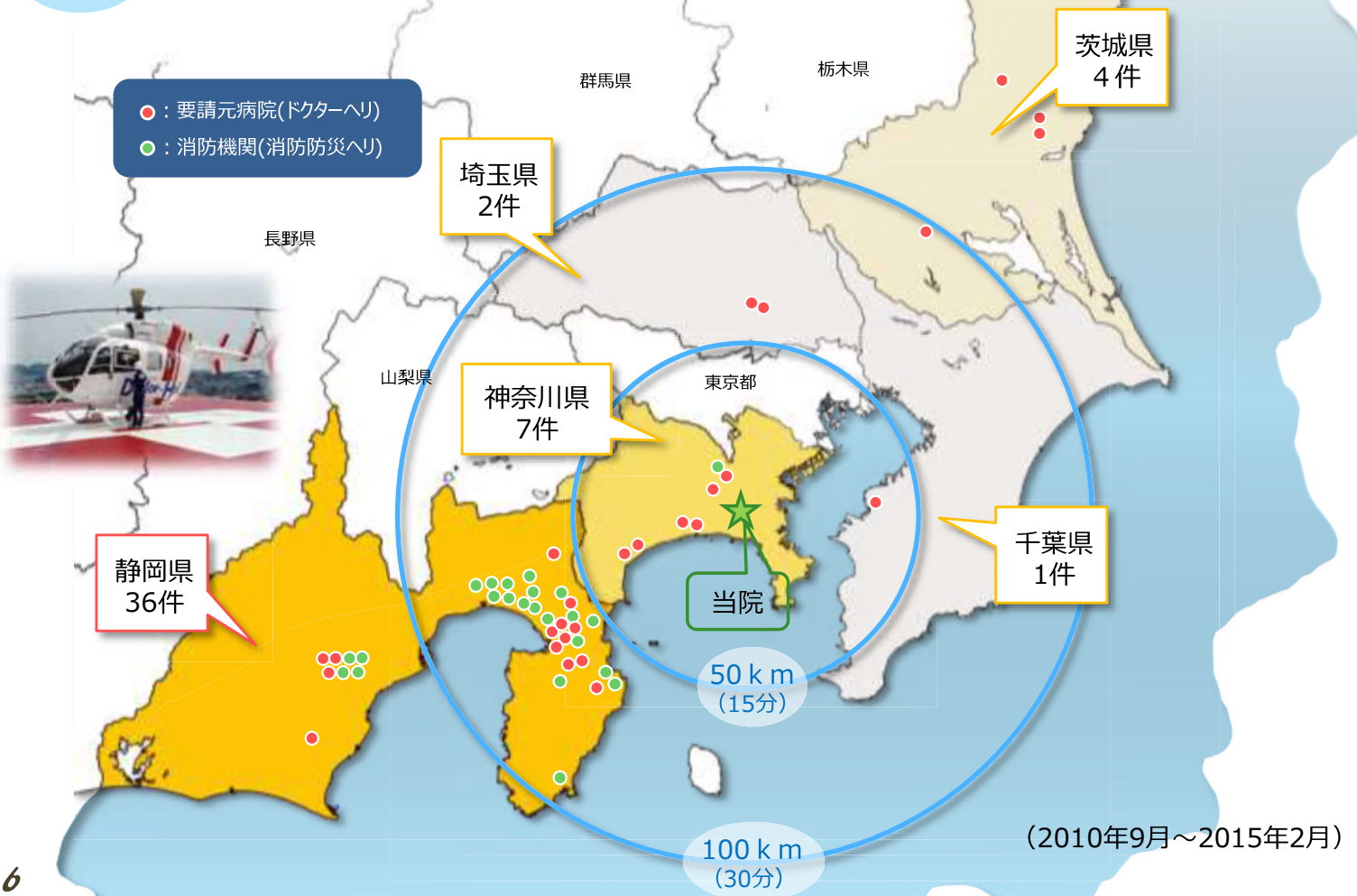
湘南鎌倉総合病院における ヘリコプター救急搬送患者の現況②

前回のしよなんメールvol.97号（2015年4月）では湘南鎌倉総合病院におけるドクターヘリ等、ヘリコプター救急搬送の概要および受け入れ件数等についてお示しさせていただきました。今回はヘリコプター救急搬送患者さんの要請元地域、対応診療科、手術の有無、転帰等について救命救急センター顧問の福田充宏医師と、同センター長の大淵尚医師のコメントを踏まえてご紹介をさせていただきます。

1 ヘリコプター救急搬送患者の要請元地域

図1は2010年9月から2015年2月までに当院で受け入れたヘリコプター救急搬送患者さんの要請元の医療機関および現場の消防機関の地域を地図上にお示したものです。当院が所在する神奈川県内近隣からの搬送は7件(全体14%)と少なく、静岡県等、県外遠隔地域からの搬送が43件(全体の86%)と多かったことは前回述べました。地図上●でお示したものは医療機関からの要請によるドクターヘリによる搬送で、○でお示したものは救急要請を受けた消防機関から消防防災ヘリコプターが現場に直接向かい、搭乗した救急患者さんを当院へ搬送されたケースです。後者は労働災害、交通事故、自宅での作業中の事故等が多くなっています。ヘリコプターによる救急搬送は、天候や気象状況にもよりますが救急車による救急搬送の約1/4の搬送時間で、重症救急患者さんを適切な治療が行える医療機関へ搬送することができるので患者さんにとっては好都合です。当院の救命救急センターは外傷センターも兼ね揃えており、外傷患者さんはもとより、その他の重症救急患者さんに対しても高度な治療が行える体制を備えています。まだまだ、搬送件数が少なく、要請元地域も偏在しているのが現状です。

図1 要請元医療機関および消防機関の地域



2 対応診療科および手術の有無、転帰

図2 対応診療科

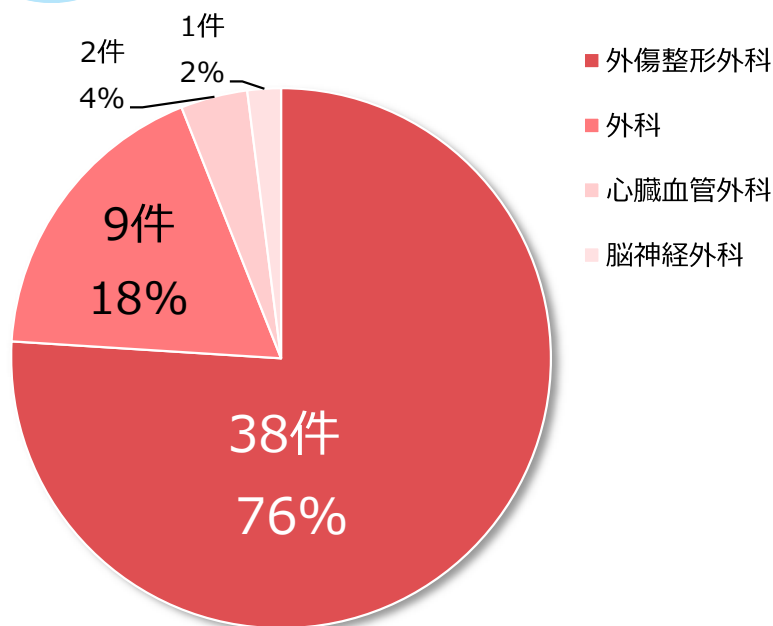
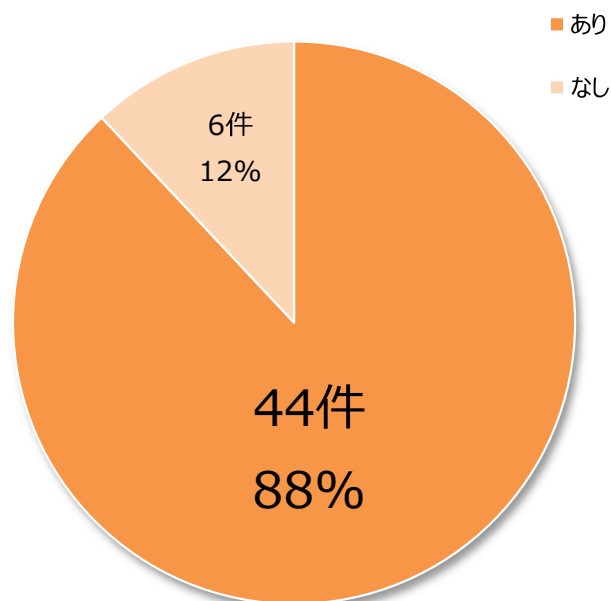


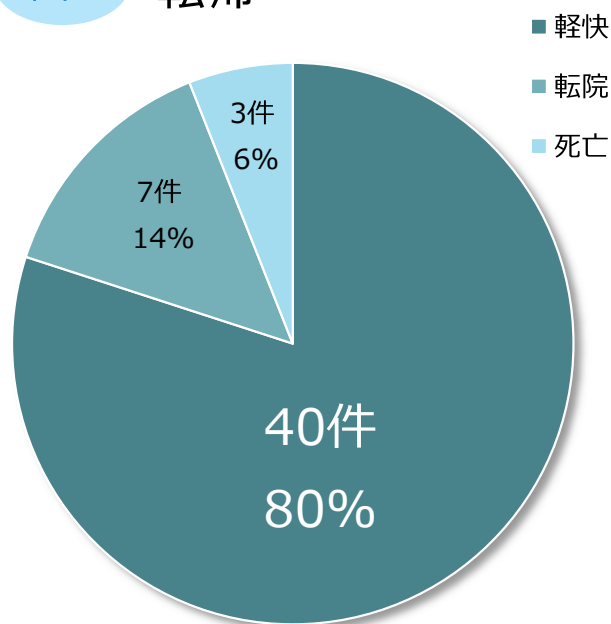
図3 手術の有無

総数=50



次に当院で受け入れた5歳から81歳までのヘリコプター救急搬送患者さんの病状に応じた対応診療科と手術の有無、転帰についてお示しします。図2は受け入れた50件の患者さんに対応した診療科別に分類したものです。ヘリコプター救急搬送患者さんのうち最も多かったのは外傷整形外科の分野で、交通事故による四肢の開放骨折や骨盤損傷、労働災害による四肢の損傷や切断などが該当します。腹部や胸部の大動脈瘤破裂や急性大動脈解離等は外科の分野に該当します。それ以外の分野としては心臓血管外科や脳神経外科関連の疾患がありました。図3はヘリコプター救急搬送患者さんの手術の有無についてお示したものです。50件のうち44件の9割足らずの患者さんが何らかの手術を受けておられます。また、手術例44件中34件が搬送当日に緊急手術が行われています。このように多種多様な救急疾患に対して常時各種の治療が提供できるということも当院の強みであります。図4はヘリコプター救急搬送患者さんの転帰についてお示したものです。手術治療等により軽快・治癒し、退院されたケースが40件(80%)、リハビリ等の目的で他院に転院されたケースが7件(14%)、治療の甲斐なくお亡くなりになったケースが3件(6%)となっています。

図4 転帰



3 おわりに

今回のようなメールではヘリコプター救急搬送患者さんの要請元地域、対応診療科、手術の有無、転帰等についてご紹介させていただきました。ヘリコプターによる救急患者さんの搬送は、近隣地だけでなく遠隔地からの重症救急患者さんに対しても、より早く適切な治療が行える医療機関へと搬送するために重要な役割を担っています。離島へき地に限らず、首都圏近隣においても交通事故や労働災害など予想しえない事故に遭遇する可能性は誰にでもあります。そのような場合に、ヘリコプター等による救急患者さんの搬送は有効な手段になります。今後は、当院においても、そのような救急患者さんをより一層多く受け入れることができるような態勢作りをはかり、近隣地域はもちろんのこと、遠隔地からヘリコプターで搬送された救急患者さんに対しても迅速な対応ができるよう努力を重ねてまいりますので、皆様方のご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。



医療法人
沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1
Tel : 0467-46-1717(代表) Fax : 0467-45-0190

ホームページアドレス:
<http://www.shonankamakura.or.jp>



ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表が、ホームページをご覧ください。また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院

検索

クリック!

TOPICS トピックス

「神奈川DMAT-L」に 指定されました

平成27年3月31日に神奈川県から「神奈川DMAT-L」に指定されました。「神奈川DMAT-L」とは、神奈川県内で発生した災害の急性期に活動できる機動性を持ち、極地災害対応に係る専門的な研修・訓練を受けた災害派遣医療チームのことです。被災地市町村からの要請に基づき、災害拠点病院または災害協力病院（当院はこれに該当）から派遣されます。神奈川DMAT-Lは原則として県内の被災地内で以下の活動を行います。



- 消防機関などと連携し、トリアージ緊急医療等を行う（現場活動）
- 被災地内での患者搬送及び搬送中の治療等を行う（域内搬送）
- 災害拠点病院の指揮下に入り、患者の治療等を行う（病院支援）

◀ 神奈川県DMAT-L指定病院
指定証

「神奈川県がん診療連携指定病院」 に指定されました。

平成27年4月1日に神奈川県から「神奈川県がん診療連携指定病院」に指定されました。



3月26日木曜日に神奈川県分庁舎において指定書の交付式がとり行われました。

この指定を契機として、さらにがんの診療体制の充実を図り、専門的な治療や緩和医療、患者さんの相談支援に尽力していく所存です。

◀ 神奈川県がん診療
連携指定病院指定書

公共交通機関でお越しの方へ

大船駅より来院される方

●大船駅西口（大船観音側）

- | | | |
|--------|---------------|----------|
| 1番乗場 | 神・船31 渡内経由 | 「慈眼寺」行 |
| 公会堂前下車 | 船32 渡内経由 | 「藤沢駅北口」行 |
| | 神・船101 城廻中村経由 | 「大船駅西口」行 |
| | 船102 公会堂前経由 | 「城廻中村」行 |

- | | | |
|------|-------------|--------|
| 2番乗場 | 神・船34 公園前経由 | 「南岡本」行 |
|------|-------------|--------|

南岡本下車

●大船駅東口交通広場ターミナル （湘南モノレール駅下バスターミナル）

- | | | |
|-------|--------------|------------|
| 2番乗場 | 江・藤沢[弥]大船 | |
| 南岡本下車 | 四季の杜・武田薬品前経由 | 「藤沢駅（北口）」行 |
| | 江・南岡本経由 | 「四季の杜」行 |

藤沢駅より来院される方

●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

- | | | |
|------|------------|----------|
| 4番乗場 | 神・船32 渡内経由 | 「大船駅西口」行 |
|------|------------|----------|

公会堂前下車

- | | | | |
|------|-----------|---------|--------|
| 9番乗場 | 江・藤沢[弥]大船 | 武田薬品前経由 | 「大船駅」行 |
|------|-----------|---------|--------|

南岡本下車

●藤沢駅南口（小田急デパート側）

- | | | |
|------|----------------------|-------------|
| 8番乗場 | 江・5301 アズビル前・武田薬品前経由 | 「湘南鎌倉総合病院」行 |
|------|----------------------|-------------|

湘南鎌倉総合病院下車

